

令和5年度事業報告

広陵町社会福祉協議会（社協）では、令和5年度の基本方針に基づき、各方面における福祉事業等を実施いたしました。経理区分ごとにご報告いたします。

【社 会 福 祉 事 業】

I 総合保健福祉会館拠点区分

1. 法人運営事業サービス区分

理事会・評議員会の開催ほか、広陵町社会福祉協議会の円滑な運営に努めています。

財源確保のため社協会員を募集し、57件（法人等8団体、個人49名）の方々にご賛同いただきました。（324,000円）

2. 地域福祉事業サービス区分

（1）日赤募金事業

赤十字奉仕団への支援のほか、住宅火災に際して、火災見舞金、布団や毛布・日用品をお届けしております（令和5年度は実績なし）。各種団体等の行事開催にあたり、日赤奈良県支部に対して付添看護員や講師の派遣要請を行いました（付添看護員3件、講師派遣5件）。

また、義援金や救援金を受け付けています。令和6年1月に発生しました令和6年能登半島地震災害に対する義援金として、16,403,698円が町民から寄せられ、日赤奈良県支部へ全額お届けしました。

（2）生活福祉資金貸付事業

県社協が実施主体となって行う事業で、貸付の手続き、助言等を行っています。34件の相談があり、貸付実績は1件でした。

（3）基金預託事業

皆さまの温かいご理解をいただき、6件、414,400円のご寄付をいただきました（満中陰志等）。

（4）給食サービス

ボランティアコスモス会、赤十字奉仕団の協力により、季節にちなんだ手作り弁当を作ってください、民生委員・児童委員協議会の方々により、地域のひとり暮らし高齢者宅へ毎月2回（12月は1回）、昼食の配食とともに安否確認をしていただきました（年間2,671食 令和6年3月2回目の配食数は、114食）。

(5) 福祉用具、車いす対応福祉車両貸出事業（無償）

長期臥床にある高齢者等を対象に、延べベッド7台、車いす72台、ピックアップウォーカー1台の貸出を行いました。

また、車いすを使用しての通院等を支援するため、車いすに乗ったまま乗降できる福祉車両の貸出を行いました（29件）。

(6) 日常生活自立支援事業

奈良県社会福祉協議会（県社協）が実施主体となつて行う事業で、認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、福祉サービス利用における支援や普段の生活に必要な手続きに対する支援、日常的な金銭管理の支援等を行っています（令和5年度末現在、利用者6名）。

(7) ボランティアセンター業務

地域福祉の推進に大きな役割をもつボランティアの、自発的・積極的な活動を支援しています。

令和5年度末現在、団体として46団体（1,325名）、個人として7名の方に登録いただいています。

社協ホームページでボランティア団体の活動内容を掲載し、またボランティア紹介チラシを公共施設に配置するなど情報発信をしています。

【10月】かぐや姫まつりで「社協登録ボランティア団体パネル展」を実施。

【2月】「災害ボランティア養成講座（入門編）」を開催（18名参加）。

(8) フードレスキュー（町独自）

フードバンク奈良、JAならけん女性部、リレーセンター広陵などの協力のもと、生活に困窮された世帯に町独自のフードレスキュー（226件）を実施しました。

(9) 新型コロナウイルス感染症の影響による支援資金貸付事業

新型コロナウイルス感染症の影響で生活が困窮された世帯対象に1世帯あたり200,000円を限度とした貸付事業につきましては、貸付実績はありませんでした。

(10) 災害発生時への備え

災害に備えて、発電機などの災害用備品を購入しました（506,440円）。

【11月】「令和5年度 北葛城郡社協事務局長会主催 災害訓練」（河合町にて実施）に参加。

3. 町受託事業サービス区分

町から様々な事業を受託し、自主財源を確保しています。

(1) 手話奉仕員養成講座

入門編（全23回）を開催いたしました。受講生13名のうち、9名に修了証を交付しました。

(2) 意思疎通支援事業

通院等で手話通訳が必要な方に手話通訳者の派遣を行いました(200件)。

(3) 老人福祉センター事業

町からの受託事業として、さわやかホール3階の老人福祉センター（利用者数25,351人）とグリーンドーム（利用者数685人）の管理運営業務を行いました。

(4) 会館管理事業（さわやかホール）

町からの受託事業として、さわやかホール（利用者数12,761人）の会館管理業務を行いました。

(5) 生活支援体制整備事業

住民の皆さんが住み慣れた地域で元気でいきいきと心豊かに暮らし続けられるよう、住民の皆さん、行政、社協等が連携して、生活支援など支え合うなかまづくり、地域づくりを目指しています。

【4月】「広陵ささえ愛（協議体）通信」第6号発行

【8月】第1回広陵ささえ愛会議開催（20名参加）

- ・原点回帰！生活支援体制整備事業とは
- ・事例紹介

【2月】第2回広陵ささえ愛会議開催（22名参加）

- ・協議体活動を進める上での留意事項
- ・真美一まちづくり協議会によるニーズ調査について
- ・かぐや姫会の紹介とワークショップの報告

(6) 福祉団体活動支援事業

老人クラブ連合会、遺族会、民生委員・児童委員協議会の一部事務と、手をつなぐ育成会の支援業務を担当しています。

（身体障がい者交友会、母子寡婦福祉会は、活動休止中）

(7) 自家用有償運送事業

令和5年10月から、広陵元気号自家用有償旅客運送予約システムオペレーター業務を受託しています。6か月間の電話予約が1,972件あり、令和6年3月は359件でした。

4. 共同募金事業サービス区分

毎年10月から3月まで、赤い羽根共同募金の募金活動を実施しています。住民のみなさんからいただいた募金で次のような事業を実施しました。

(1) 「ふれあい・いきいきサロン」の推進

地域住民が自主的に運営し、高齢者、障がい者、子育て中の親子などが地域で孤立することなく、地域住民との交流や仲間づくり、社会参加ができる場である「ふれあい・いきいきサロン」の運営を支援するため、設立助成や活動費の助成を行っています。

令和5年度末現在、29団体が活動されています。

【7月】サロン交流会を実施（16団体29名参加）。

(2) ひとり親家庭 親子ふれあい交流事業

新型コロナウイルス感染症が5月8日から5類に移行されたことにより、ひとり親家庭における親子のふれあいを目的として、夏休み期間中に日帰り旅行を実施しました（神戸方面）。5世帯12名の親子が参加され、民生委員（母子父子福祉部会）2名に同行いただきました。

(3) 地域福祉委員活動の推進

小地域における福祉の問題や要望を発見し、民生委員と連携しながら地域住民とともに「福祉のまちづくり」を進めていく推進役として10地区20名の地域福祉委員に活動していただいています。

【10月】連絡会議を開催しました（11名参加）。

(4) 広陵町共同募金委員会助成事業

共同募金配分金を財源として、社協登録ボランティア団体を対象に、助成事業を実施しました。5団体の応募があり、総額220,153円を交付しました。

(5) 歳末慰問事業の実施

歳末慰問事業として、生活保護世帯（109世帯）に1世帯あたりお米2kgと味付けのり、インスタント味噌汁のセットを、要保護児童世帯及び準要保護児童世帯（136世帯）に図書カードを贈りました。

(6) 歳末社協イベント

広陵町民生委員・児童委員協議会やボランティアにご協力いただき、「社協もちつき大会」を実施し、町内の親子148名が参加されました。

5. 福祉資金貸付事業サービス区分

低所得の方に対する一時的な生活資金として、12か月以内の返済を条件に、5万円を上限として無利子での貸付を行っています。相談件数は34件あり、そのうち12件の貸付を実施しました。